



メールにいがた

第 112 号 2015 年 2 月
新潟県点字図書館

今号の内容

1 点字図書館から 3ページ

- 点字図書館での対面朗読サービスのご案内
- 平成 27 年度デジタル音声再生機（プレクストーク）の貸出し手続き（新規・更新）のお知らせ
- 「平成 24 年度図書増加目録」及び「平成 26 年度雑誌一覧」発行のお知らせ
- 第 152 回芥川賞・直木賞受賞作品の貸出等のお知らせ
- 「メールにいがた」デイジー版は今号から返却不要になりました

2 Q&A 8ページ

Q：パソコンは持っていませんが、ドコモの携帯電話（らくらくホン）を使っています。私のらくらくホンで、サピエ図書館に登録されているデイジー図書を聴くことができますか？

Q：送ってもらったデイジー雑誌が、再生の途中で止まってしまいました。最後まで聴きたいのですが、どうしたら良いですか？

3 お役立ち情報 9ページ

- 新潟県視覚障害者福祉協会からのお知らせ
 - (1) 生活訓練指導員通信 no.4
 - (2) お茶を飲みながら情報交換しませんか！「ふれあい・いきいきサロン」のご案内
 - (3) 「生活訓練（iPad の体験講習会）」延期のお知らせ
- アート・ミックス・ジャパン 2015 のご案内
- 盲導犬宿泊体験セミナーのお知らせ

4 図書紹介コーナー 14 ページ

- 図書選定委員 木村弘美さん（五泉市）のご紹介
「草原の椅子」 宮本輝著 毎日新聞社 1999年5月

5 功労表彰などの受賞者のご紹介 15 ページ

- 第35回全国障害者技能競技大会で当県出場者が金賞と厚生労働大臣賞を受賞しました
- ヘレン・ケラー記念音楽コンクールで当県出場者が3部門で入賞しました

6 12月・1月登録の新刊制作ボランティアの皆さん紹介 16 ページ

7 開館及び電話受付時間と2～4月の休館日 17 ページ

巻末 「日常生活支援機器情報コーナー no.16」

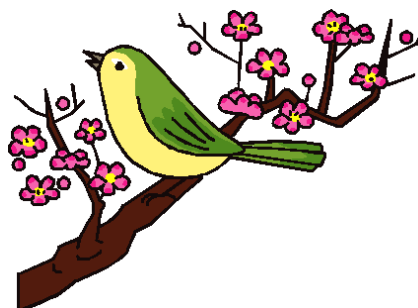
「携帯電話の動向」

記事掲載ご協力 株式会社ラビット 代表取締役 荒川明宏様

※1 新刊案内（12～1月分）は別冊

録音 65タイトル、点字 37タイトル

※2 県内主要文化施設の催し紹介（2月下旬～4月中旬）の点字版及び墨字版は別冊



1 点字図書館から

●点字図書館での対面朗読サービスのご案内

新潟県点字図書館では、利用者の皆様のお手元にある資料を、館内で読みあげてお聞かせする対面朗読サービスを行っています。利用者の個人情報や朗読内容の秘密は守られます。必要な時はお気軽にご利用下さい。

★利用できる方

- ・視覚に障害があり、当館の利用登録をされている方
利用登録されていない方は、対面朗読サービス予約時に利用登録をしていただきます。

★利用できる日及び時間

- ・開館日の午前9時30分～午後5時まで（休館日は月曜日、祝日の翌日及び年末年始）
- ・1回の利用時間は2時間以内
- ・1日の利用回数は3回（6時間）以内（ただし、協力していただくボランティアの人数が確保できない場合は、回数を調整させていただきます。）

★利用する部屋 館内の対面朗読室

★利用料金 無料

★対面朗読を行う資料

図書、雑誌、新聞、その他の印刷物（市からのお知らせやダイレクトメール等）

※ 名簿、診断書など個人情報を多く含む資料は、対面朗読前に職員が確認をします。

★予約手続き

- ・ご希望の日時を、電話、FAX 又は Eメールで対面朗読希望日の2日前までにお申出ください。予約は利用希望日の3か月前から受け付けます。
- ・当館行事等の都合で、予約希望日時を調整させていただくことがあります。
- ・予約時には、氏名・電話番号・予約希望日時・資料の内容（わかる範囲で可）、亀田駅と当館の送迎希望の有無をお知らせください。

★録音やメモ

- ・利用中の音声は、対面朗読利用者個人の利用に限って録音することができます。録音のための機器はご持参ください。

★利用にあたってのお願い

- ・予約時間は厳守してください。
- ・予約のキャンセルは、予約日前日の午後5時までに電話でご連絡ください。（FAX・Eメールではキャンセルの受付はできません）
- ・対面朗読を希望する資料を、当日持参してください。（点字図書館で資料の購入や公共図書館資料の取り寄せ代行は行いません。）
- ・対面朗読を希望する資料に個人情報が多く含まれている場合は、ボランティアによる対面朗読ではなく、職員が行う場合があります。
- ・対面朗読を行うボランティアの指名はできません。
- ・対面朗読時は、朗読以外のおしゃべりや相談ごとの対応はできません。
- ・対面朗読サービス利用に関する苦情やご意見は、対応したボランティアではなく点字図書館職員にお申出ください。

★その他

来館が困難な方には、録音プライベートサービスも行っています。ご希望の方は、お申込みください。

★申込み・照会先

新潟県点字図書館 対面朗読係

TEL 025-381-8111 FAX 025-381-8115

Eメール tosyo@ngt-shikaku.jp

●平成27年度デジタル音声再生機（プレクストーク）の貸出し手続き（新規・更新）のお知らせ

当館では、デジタル音声再生機（プレクストーク）の貸出を行っています。この貸出しは、一人でも多くの当館利用者にデイジー図書の快適さを実感してもらったり、その操作に慣れていただくために実施しているものです。

平成27年度に新規で借受けたい方、継続して借受けたい方の手続きを次により行いますので、ご協力をお願いします。

(1) 新規に借受けを希望する方

2月28日（土）までに当館へ電話、ファックスまたはメールでお申

込みください。お申込みの際は、氏名、性別、年齢、住所、電話番号、障害の程度、市町村が実施している日常生活用具給付事業利用の可否をお知らせください。

(2) 継続して借受けたい方

2月28日（土）までに当館から、利用状況並びに返却又は継続借受希望等を電話で確認させていただきます。当館開館時間中に電話対応が困難な方は、電話連絡の都合がよい時間を2月21日（土）までにご連絡ください。

(3) 貸出決定方法

貸出台数に限りがありますので、視覚障害の程度、日常生活用具給付事業利用の可否、借受理由等を参考に、優先度の高い方から決定させていただきます。

(4) 貸出期間

平成27年度内での必要期間での貸出となります。

(5) 借受けに当たっての条件

★借受けている方が、当館において3か月以上にわたりデイジー図書、デイジー雑誌、一般CDの利用がなかった場合は、機器の貸出しを中止する場合があります。

★年度の途中で、優先度の高い方から申込みがあった場合は、優先度の低い方から順に返却してもらうこともあります。

★借受者の過失により故障した場合、その修理費は借受者の負担になります。（マニュアルに沿った通常の使用方法で故障した場合は、当館が負担します。）

★機器の送料は、借受者の負担となります。

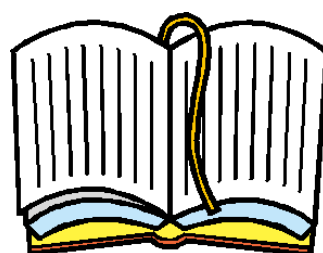
(6) 申込み・照会先

新潟県点字図書館 デジタル音声再生機貸出係

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽1-9-1

TEL 025-381-8111 FAX 025-381-8115

Eメール tosyo@ngt-shikaku.jp



●「平成 24 年度図書増加目録」及び「平成 26 年度雑誌一覧」発行のお知らせ

「平成 24 年度図書増加目録」及び「平成 26 年度雑誌一覧」を 2 月下旬に発行します。貸出しを希望される方はお申込みください。

また、お手元に置いておきたい方には、プライベートサービス（有償）で提供させていただきますので、ご希望の方はその旨お申込みください。

(1) 発行する種類

点字図書増加目録：点字版、墨字版

録音図書増加目録：点字版、墨字版、デイジー版

CD雑誌一覧：点字版、墨字版、デイジー版

(2) 貸出しを希望する場合

電話、ファックス、メール又は来館等でお申込み下さい。ただし、墨字版の貸出しは行いません。

(3) プライベート（有償）サービスを希望する場合

★プライベート料

点字図書増加目録：点字版、墨字版とも 1 部 500 円

録音図書増加目録：点字版、墨字版、デイジー版とも 1 部 500 円

CD雑誌一覧：点字版、墨字版、デイジー版とも 1 部 200 円

★申込み方法

電話又は来館でお申込み下さい。希望する種類、点字・墨字等の区分、部数、金額、支払方法等を申込み時に確認させていただきます。

★来館による料金の納入方法及び引渡し方法

料金納入と引き換えでお申込み資料をお渡しします。

★来館以外による料金の納入方法及び引渡し方法

①お申込み内容に基づき、請求金額等を記入した振込用紙（郵便振替用紙）を当館から発送します。

②送付された郵便振込用紙で請求のあった金額をご入金ください。

（その際、郵便振替手数料が必要となります。）

③ご入金を確認した後、当館から現物を発送します。



●第 152 回芥川賞・直木賞受賞作品の貸出等のお知らせ

1 月 15 日に開催された日本文学振興会主催の第 152 回芥川賞・直木賞の選考会で、芥川賞に小野正嗣（おの まさつぐ）氏の『九年前の祈り』、直木賞に西加奈子（にし かなこ）氏の『サラバ!』が選出されました。

受賞作品は、未だサピエ図書館に登録されていませんが、貸出の予約受けを行っています。ご希望の方はお申し出ください。

受賞作品の概要と作者を紹介します。

★芥川賞受賞作品 「九年前の祈り」 小野正嗣 著

《作品紹介》

カナダ人の男と別れ、幼い息子を連れて故郷に戻った女性が主人公。問題を抱える子どもとの関係に苦しんでいる。「みっちゃん姉（ねえ）」と慕う女性の息子が重い病だと聞き、主人公は 9 年前のカナダでの珍道中を思い出す。過去の旅と現在を行き来しながら、二人の女性の祈りを大分の海辺の風土に包んで優しく描く。

《作者紹介》

1970 年大分県生まれ。東京大学大学院を経て、パリ第 8 大学で文学博士。立教大学文学部文学科文芸・思想専修准教授。

★直木賞受賞作品 「サラバ!」 西加奈子 著

《作品紹介》

イランで生まれ、育ったカイロでエジプト人の親友を得る少年が主人公。イケメンだが強烈で個性的な家族に囲まれ、自意識過剰でゆがんだ性格になってしまった彼が、親友と再会、家族と自分の存在を受け入れていくまでの成長物語。

《作者紹介》

1977 年イラン・テヘラン生まれ。大阪、エジプト・カイロなどで幼少期を過ごす。関西大学法学部卒業。

●「メールにいがた」デイジー版は今号から返却不要になりました

「メールにいがた」のデイジー版（CD）は、今号から「本編」、「新刊案内」、「県内主要文化施設催事情報」を全て 1 枚の CD に収録し発行しました。そして返却も不要としましたので、手元に置きいつでも聞き直して内容確認ができるようになりました。点字版、墨字版からの変更は随時受け付けています。

2 Q&A

利用者の皆様から寄せられたご質問やご意見に、お答えします。

Q：パソコンは持っていませんが、ドコモの携帯電話（らくらくホン）を使っています。私のらくらくホンで、サピエ図書館に登録されているデイジー図書を聴くことができますか？

A：NTT ドコモ専用サイト「サピエモバイル・デイジー館」で、音声デイジー図書を聴くことができます。

現在「デイジー館」の利用ができるのは、次の7機種です。

- らくらくホン5
- らくらくホン6
- らくらくホン7
- らくらくホン8
- らくらくホン プレミアム
- らくらくホン ベーシック3
- らくらくホン ベーシック4



また、利用の条件は以下の3つです。

- (1) サピエのIDとパスワードを所有している。
- (2) NTT ドコモの「パケホーダイ」または「パケホーダイ W」の契約をしている。
- (3) microSD カードがらくらくホンにセットされている。

※ご利用前に、専用アプリのダウンロードが必要です。

※視覚障害者のほか、活字による読書が困難な障害のある方も利用することができます。

※サピエのIDとパスワードの取得は、新潟県点字図書館でも代行しております。「サピエモバイル・デイジー館」に関する詳しい問合せは下記のサポートセンターにご相談ください。

サピエ大阪サポートセンター（日本ライトハウス情報文化センター）
サポートセンター専用電話：06-6441-1171
電話による受付時間：火～土曜日 10時～17時（祝祭日を除く）

サピエ東京サポートセンター（株式会社ラビット）
サポートセンター専用電話：050-5804-0367
電話による受付時間：火～土曜日 10時～17時（祝祭日を除く）

Q:送ってもらったデイジー雑誌が、再生の途中で止まってしまいました。

最後まで聴きたいのですが、どうしたら良いですか？

A:デイジー図書(または雑誌)に不良品があった場合、お手数でもどのような状況かご返送の際にお知らせくださるとともに、郵送ケースの中のプラスチックCDケースに輪ゴムをかけてご返送ください。

なお、あらためて同じデイジー図書(または雑誌)の送付をご希望の場合には、お手紙、電話、Eメールなどでお知らせください。新しいCDに録音し直したものを送付いたします。不良品のご連絡について、皆様のご協力をお願いいたします。

また、寒い時期には温度差によるCDの結露が悪い影響を与えることも考えられます。ご面倒でも寒い室外から暖かな室内にCDを持ち込んだ際には、少し時間をおいてから再生することも一つの工夫かと思えます。



3 お役立ち情報

このコーナーでは、視覚障害に関する様々な行事や日常生活に役立つ情報を掲載しています。次号113号(4月発行)に掲載したい情報は、3月14日(土)までに当館へご連絡ください。

●新潟県視覚障害者福祉協会からのお知らせ

新潟県視覚障害者福祉協会が実施する主な行事等をお知らせします。

お問合せ、申込みは視覚障害者福祉協会事務局へ

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽 1-9-1

TEL 025-381-8130 FAX 025-381-8120

メール ngt.shikaku@cello.ocn.ne.jp

(1) 生活訓練指導員通信 no.4 (山口・生活訓練指導員)

【権利とわがまま？】

僕の5歳の甥っ子はかわいい。いたずらの盛りですから、両親に毎日叱られます。かわいい彼は最近、新しい言葉を覚えました。それは権利。意味は知らないけれど、権利を主張すれば叱られにくいと学習したようです。道理の通らない権利を延々とわめき散らす様子はこれがまたかわいいわけで…。親ばかならぬ叔父ばかりです。

そういえば以前、京都市の金閣寺のそばに3か月間住んでいたころ、生活訓練を受けていた全盲の男性とこんな話題になりました。「障害者はわがままだ。権利とわがままの違いもわからなくなってしまったのか…。」当時の私にはピンと来ませんでした。話を聞くと次のようなことらしい。知り合いの全盲の男性が点字ブロックの上で晴眼者とぶつかった。知り合いは「点字ブロックは視覚障害者が歩く権利がある道だ！どけ！」と怒鳴った。ぶつかった晴眼者は声からすると高齢らしく、謝って去っていった。

「晴眼者にも落ち度はある。が、それ以上に同朋として恥ずかしい。」生活訓練を受けていた全盲の男性は知り合いの行動をこう評した後で、「これでまたひとつ盲人が社会に受け入れにくくなった。」と嘆いていました。

「障害のある人もない人もわがままになるのは個人の責任ではなく、そんな社会しか知らずに育った環境に問題がある。社会から孤立する彼がかわいそうだ。もっと悪いことに彼の支援者が後押ししてどんどん変な方向へ歩んでいる」と。「山口くんもわがままになっちゃいけないよ」と笑いながら話してくれました。その後は男性の奥さんのわがままについて延々と話を聞かされた記憶があります。これが長かった…。

そんなことを思い返していると、甥っ子の主張はすべてわがままだと気がきます。僕の腹を叩いて、腹を叩く権利があると言います。甥っ子よ、そんな権利は無いぞ。

(2) お茶を飲みながら情報交換しませんか！「ふれあい・いきいきサロン」のご案内

毎月第1と第3木曜日の午後に新潟ふれ愛プラザで開設している「ふれ

あい・いきいきサロン」、2月～4月の開設日をお知らせします。
自分の生い立ちの話や地域の話、自分の見え方の悩みなどなんでも互いにお話ししてください。皆さんお誘い合わせのうえお気軽にお越しください。
事前申し込みは不要です。

日時：2月19日(木)、3月5日(木)、3月19日(木)、4月2日(木)、
4月16日(木) 何れの日も午後1時30分～3時30分
場所：新潟ふれ愛プラザ 2階 ミーティングルーム(新潟市江南区亀
田向陽 1-9-1)

(3)「生活訓練(iPadの体験講習会)」延期のお知らせ

生活訓練として平成27年2月にiPadの体験講習会を実施する予定でしたが、講師の多忙なスケジュールとアップルストア等の機器貸し出しの調整が難しく、延期させていただくことになりました。参加を検討して下さった方にはご迷惑をおかけいたします。大変申し訳ありません。

IT機器の講習会、とりわけタブレット端末の講習は今後も検討し、実施していきたいと思っております。ご理解の程よろしく申し上げます。

●アート・ミックス・ジャパン2015のご案内

一流を気軽に楽しむ新潟の和の祭典、今年の春も「りゅーとぴあ」をメイン会場に新潟市内の様々な会場で、様々な公演が予定されています。

開催日時：4月25日(土) 午前10時～午後8時

4月26日(日) 午前10時30分～午後7時45分

開催日、開催会場及び主な公演内容：

各公演の頭に付されている番号は、各公演の「チケット番号」です。

【4月25日(土)】

★りゅーとぴあ「劇場」

01 手影絵／劇団かかし座、04 腹話術／いっこく堂、08 祭／いがた総おどり、11 雅楽／東儀秀樹

★りゅーとぴあ「能楽堂」

02 人形浄瑠璃／猿八座、06 奄美島唄／浅崎郁恵(あさざき いくえ)、09 篠笛／佐藤和哉

★りゅーとぴあ「コンサートホール」

05 東アジア文化都市プレミアムステージ／クク・スホ・ディディム／韓国伝統舞踊団／狩野泰一（篠笛）／宮本貴奈（みやもと たかな・ピアノ）／山東歌舞劇院（さんとうかぶげきいん）

★燕喜館

03 和妻（わづま）／上口龍生（かみぐち りゅうせい）、07 紙切り／林家花（はやしや はな）、10 変面／中国伝統舞踊 江玉（こうぎよく）他

★鍋茶屋

12「老舗料亭」×「芸妓」／解説 市山七十世（いちやま なそよ）

★旧小澤家住宅

13 煎茶三点法／茶亭・酒亭・飯亭の三亭を設けて煎茶を楽しむ会

【4月26日（日）】

★りゅーとぴあ「劇場」

14 歌舞伎／花柳辰蔵（はなやぎ たつぞう）／花柳寿美蔵（はなやぎ すみぞう）、17 大田楽／ACT.JT（アクトジェイティ）、20 落語／古今亭菊之丞（ここんてい きくのじょう）、23 津軽三味線／吉田兄弟

★りゅーとぴあ「能楽堂」

15 狂言「右近左近」／茂山千五郎家（しげやま せんごろうけ）、18 歌・能／麻衣（まい）／梅若紀彰（うめわか きしょう）、21 狂言「清水」／野村万蔵／萬狂言一門（よろずきょうげんいちもん）

★燕喜館

16 尺八・ピアノ／Asian Groove Nation、(アジアン グルーヴ ネーション) 19 和楽器ユニット／音魂（おとだま）、22 箏／黒澤有彌（くろさわ ゆみ）

★行形亭

24「老舗料亭」×「篠笛」／狩野泰一（かのう やすかず）と弟子の佐藤和哉（さとう かずや）と初共演

各公演チケット料金：

①単独のチケット料金 1,500円～3,000円（全席指定）

②3公演セットチケット料金：5,500円～7,500円

アートミックスジャパンの楽しみ方を知っていただくために、特別

にコーディネートされた3公演のセット券で25日が4種類、26日が5種類あり、何れのセット券にも25日開催の「東アジア文化都市プレミアムステージ」のチケットが付いています。

③老舗料亭等チケット料金

「老舗料亭」×「芸妓」（鍋茶屋）、茶三点法（旧小澤家住宅）及び「老舗料亭」×「篠笛」（行形亭）はいずれも25,000円

チケットの購入方法：

専用電話、インターネット、取扱店でお買い求め下さい。いずれも「チケット番号」で購入できます。

①専用電話 025-255-1332（受付は午前10時～午後6時
土・日・祝日は休業）

②インターネット

アート・ミックス・ジャパン・オフィシャルサイト artmixjapan.com

ローソンチケット t-tike.com

チケットぴあ t.pia.jp

③取扱店来店

りゅーとぴあインフォメーション

新潟県民会館チケットセンター窓口（1階）

新潟伊勢丹プレイガイド（5階）

問合せ先：アートミックスジャパン2015実行委員会事務局

TEL 025-383-6630 FAX 025-255-1333

E-mail amj@soh-odori.net

●盲導犬宿泊体験セミナーのお知らせ

公益財団法人北海道盲導犬協会では、3月に盲導犬宿泊体験セミナーを開催します。実際に盲導犬との歩行や生活を体験していただくことによって、盲導犬についての知識をよりいっそう深めていただくことを目的としています。

参加者には現在訓練中の盲導犬候補生たちをお渡しします。盲導犬のユーザーになりきって、新しい世界へ一歩足を踏み入れてみませんか？

日時：3月21日（土）午後1時～3月22日（日）午後2時30分

会場・宿泊先：北海道盲導犬協会（協会の最寄り駅や新千歳空港までの送迎が可能です。）

参加対象者：15歳以上の視覚障害者（お一人での参加が不安な方は、
同伴の方も参加可能）

セミナーの内容：

- ・盲導犬との体験歩行（盲導犬歩行指導員とともに札幌市内を歩行）
- ・盲導犬の管理体験（協会にて盲導犬と寝泊りし、食事、排泄、手入れなど日常の世話を体験）
- ・交流会（現役盲導犬ユーザーおよび当協会職員との交流）

参加費：本人、同伴者共に無料（往復の交通費は自費負担）

募集人員：6名

申込締切日：2月20日（金）

申込方法：電話、ファックス、郵送等でお申込みください。

申込先・お問合せ先：

公益財団法人 北海道盲導犬協会 担当・田中

〒005-0030 北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1

TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715

E-mail n-tanaka@h-guidedog.org

4 図書紹介コーナー

「草原の椅子」 宮本輝著 毎日新聞社 1999年5月

図書選定委員 木村弘美さん（五泉市）

50歳の遠間憲太郎は、23年間連れ添った妻と離婚して世界最後の桃源郷パキスタンのフンザへ旅にでます。そして、フンザの小さな雑貨屋で出会った老人から謎めいた言葉をかけられます。それは、「あなたの瞳の中にはみつつの青い星がある。ひとつは潔癖であり、もうひとつは淫蕩（いんとう）であり、さらにもうひとつは使命である。」

自分の瞳にある二つの星は合点がいくにしても、三つめの使命については見当もつきません。帰国した憲太郎は、サラリーマンとしての日々の仕事に追われながら、共に50歳の富樫と親友の契を結び、陶器店を営む貴志子に少年のような恋をします。ある日憲太郎は、母親に虐待され心身共に未発達の子圭輔を預かることとなります。憲太郎と富樫は、委縮した圭輔の心に生きる強さを懸命に吹き込みます。そんな憲太郎と富樫は共に自らの人生に

穴のような欠落を感じるようになります。二人は自らの人生を問い直し、これからの生き方を模索すべく、生きて帰らざる海を意味するタクラマカン砂漠と世界最後の桃源郷といわれるフンザへの旅を計画します。そこに貴志子と圭輔も加わって、4人の大いなる再生の旅が始まったのでした。

著者の宮本輝は、「螢川」で芥川賞を受賞して以来、数々の物語を紡ぎ続けています。草原の椅子は、1995年1月の阪神大震災で被災した著者が震災後にシルクロードを旅してから書き上げた希望と再生の物語です。これを原作に〔シネマ・デイジー〕草原の椅子も出ています。こちらも必聴です！



点字：(上巻) 5冊・(下巻) 5冊、
デイジー(上)：8時間9分・(下) 9時間31分
シネマデイジー：2時間24分

5 功労表彰などの受賞者のご紹介

●第35回全国障害者技能競技大会～アビリンピック～で当県出場者が金賞と厚生労働大臣賞を受賞しました

アビリンピックは、障害のある方々が、日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々への理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的に毎年開催されています。

本年度のアビリンピック・全国大会は、昨年11月21～23日に名古屋市で開催され、新潟県から出場された妙高市の清水晃(しみずあきら)さん(上越市役所勤務)がパソコン操作(視覚障害者部門)でみごと金賞と厚生労働大臣賞を受賞されました。

新潟県出場者がこの部門で金賞を受賞したのは初めて、また金賞受賞は6年ぶりという快挙です。

●第64回ヘレン・ケラー記念音楽コンクールで当県出場者が3部門で入賞しました

1949年に全国盲学生音楽コンクールとして始まったこのコンクールは、音楽家を志す盲学生の登竜門で、第6回に小学4年でデビューしたバイオリ

ンの和波たかよしさん、第17回に小学4年で絶賛されたチェンバロなど鍵盤楽器演奏家の武久源造（たけひさ げんぞう）さん、2009年のバン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝した辻井伸行（つじい のぶゆき）さんら、国際的に活躍する音楽家を輩出しています。

今年度の第64回ヘレン・ケラー記念音楽コンクールは、昨年11月15日（土）に東京都文京区のトッパンホールで開催され、当県関係では次の方々が入賞されました。

【ピアノ1部 2位】

☆石田乃彩（いしだ のあ）さん

南魚沼市立浦佐小学校 3年

【ピアノ3部 奨励賞】

☆川崎春香（かわさき はるか）さん

新潟県立はまぐみ特別支援学校 中学1年

【弦楽器の部（全員バイオリン）2位】

☆坂下行人（さかした こうじん）さん

佐渡市立金泉小学校 4年



6 12月・1月登録の新刊製作ボランティアの皆さん紹介
（五十音順敬称略）

【点訳】（11名）

石井滋子/荻野妙子/加古川成子/木戸貞男/木村明子/桑原けい子/白井順子
永松軋子/難波美津子/三間榮治/渡辺武

【音声訳】（29名）

石井千鶴子/大関江美子/荻野京子/久我礼子/窪田佐代子/小林恵子
齋藤加代子/斎藤敬子/斉藤正子/酒井幸子/新保裕美子/杉山よし子
鈴木美枝子/高橋綾子/高橋憲子/高橋ひろ子/戸島美江/富所純子/外山正代
豊田三世/中村しのぶ/羽賀あみ/速水美智子/福島真知子/前田久美子
増田喜代子/山田草子/横山喜代子/吉倉千恵

【デイジー編集】（6名）

狩谷ケン子/柴田弘子/中村一江/林章子/横山トシ子/吉岡廣子

7 開館及び電話受付時間と2～4月の休館日

●開館及び電話の受付時間

午前9時～午後5時

●2～4月の休館日

★2月の定例休館日

2日(月)・9日(月)・12日(木)・16日(月)・23日(月)

★3月の定例休館日

2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・24日(火)・
30日(月)

★4月の定例休館日

6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)・30日(木)

【職員のつぶやき：】

最近私は招き猫にはまっています。去年は浅草寺へ行ったついでにと台東区の今戸神社へ行ってきました。招き猫の発祥の地として親しまれている神社であり、新撰組沖田総司の終焉の地として有名だそうです。境内には招き猫の絵が描かれている絵馬、なで猫と呼ばれる招き猫の石碑、御社殿の中には巨大な招き猫とまさに招き猫づくし。非日常的な空間で招き猫を思う存分楽しむことができました。

一般的に、右手を挙げている猫は金運を招き、左手を挙げている猫は人を招くと言われていますが、欲張りな私は両手を挙げている招き猫を飾っています。幸福が来るか、はたまた欲張りすぎてお手上げになるか楽しみな一年になりそうです。皆様にもささやかな福を与えられるよう、仕事に邁進していきたいと思います。

(近藤)

メールにいがた（新潟県点字図書館だより）
（第 112 号 2015 年 2 月）
発行 新潟県点字図書館

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽 1-9-1
新潟ふれ愛プラザ内
TEL 025-381-8111 FAX 025-381-8115
メール tosyo@ngt-shikaku.jp
ホームページ <http://ngt-shikaku.jp/>
郵便振替：00510-5-93600

日常生活支援機器情報コーナー (no.16)

「携帯電話の動向」

2015年のIT関連や視覚障害者の機器は、今年どのようなものが登場するのか楽しみです。また、年末にはWindows10が発売されており、パソコンもどのように変わって行くのでしょうか。以前ボタン式の携帯電話は発売されなくなるのではと書きましたが、昨年後半から各社機種は少ないですが、ボタン式の電話の新機種を発表しています。どんなことでもそうですが、予測と言うのは難しいものですね。

私は昨年末携帯電話の機種変更を行いました。そこでちょっと知り得た情報をお知らせします。

1. スマートフォンで物理的なボタンが存在しているのは「GALAXY S5 ACTIVE SC-02G」のみで他のスマホはホームボタンもありませんでした。
2. ボタン式の電話の新機種が出たのはらくらくフォンの他にもパナソニックからも発売されていました。
3. 新しくスマホや携帯電話を契約すると「新プラン」というのに契約され、ボタン式電話の場合には月額2200円、スマホの場合には月額2700円で通話はかけ放題。他社の携帯電話や固定電話にいくらかけても料金は固定です。(海外は別料金です。)
4. ボタン式電話とスマホの同時持ちを行った場合、パケット通信は一つに加入すればそれを二つで共有できる。
5. らくらくホンは月額800円、ギャラクシーは月額2,400円が本体の機種代金で以前より安くなっている。

私はらくらくホン8とギャラクシーを契約しようとしたのですが、妻に、「iPhoneを入れると電話を3台も持ち歩くの?」と言われ、らくらくホン8の契約は止めました。携帯電話を2台持ったとしても今の契約より安くなると言われたのにはちょっと驚きました。

そして最近では「ガラホ」なることばが登場。ボタン式のスマホが何機種か発売されるのではないかとされています。そのスタートとしてauでシャープの端末が1月末に発売予定です。何を選ぶとよいのか迷ってしまいますね。

【記事掲載ご協力及び製品のお問合せ先】

株式会社ラビット代表取締役 荒川 明宏

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-7 スカイパレス 401

電話 03-5292-5644 FAX 03-5292-5645

メール eigyo@rabbit-tokyo.co.jp

